

# 消防年報

平成24年版



二宮町消防本部

## まえがき

この消防年報は、消防行政の合理的な運営と、消防力の充実強化のための資料とし、あわせて、二宮町の消防現勢と平成23年中及び近年中における火災の実態や、消防、救急そして救助活動などの現状等について、消防関係者はもとより広く町民の方々にも紹介して、消防行政に対するご理解、ご協力をいただくとともに、防火思想と救急知識の高揚を図ることを目的として作成したものです。

本町の消防を知っていただく手がかりとして、また、火災や救急、救助そしてその他の災害予防のために少しでもお役にたてれば幸いです。

平成24年9月

二宮町消防本部

## 町民憲章

昭和53年7月5日制定

わたくしたちは、美しい自然に恵まれた「長寿の里」二宮の町民であることに誇りと責任をもって、より明るく豊かな町づくりのために町民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
2. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
3. きまりを守り、良習をはぐくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
4. 幸せを願い、健やかな明るい二宮町をつくりましょう。
5. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

## 町の鳥

平成23年1月5日制定

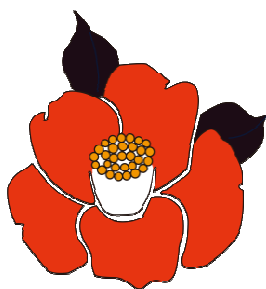


<<ヤマガラ>>

常緑広葉樹林を好み、人懐っこく親しみやすい鳥で町が目指す自然豊かな心のふるさと「里山」のシンボルにふさわしい鳥です。

## 町の木

昭和48年11月3日制定

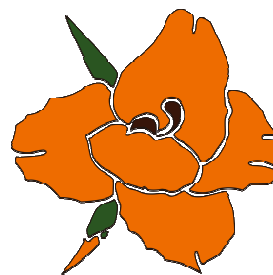


<<つばき>>

古くから武士や高貴な身分の人々にめでられ品種も多くさし木などで簡単にふやせます。町の中にも多く親しみの深い木です。

## 町の花

昭和48年11月3日制定



<<カンナ>>

明治の末に渡来した花で、生命力が強く、赤や黄と色もあざやかです。他の花の少なくなった頃に咲き出して町の中を明るくします。

# 目 次

## 二宮町の概要

◇概要	1
位置と地勢	1
人口の推移	2
◇消防の予算	3
町予算と消防予算との比較	3
消防予算額の内訳	3
消防費の人口比	3
◇消防のあゆみ	4

## 消防の現況

◇消防力の現況	9
職員の定員と実員	9
消防勢力	9
◇消防の組織	10
組織図	10
歴代消防長・消防団長	10
消防本部の仕事	11
消防署の仕事	11
消防庁舎の概要	11
消防ポンプ車等配置状況	12
消防配置図	13
平成23年度の主要行事	13
◇消防職員	14
消防職員年齢	14
消防職員勤続年数	14
消防職員居住地状況	14
◇消防団	15
消防団員の定員と実員数	15
消防団員の内訳とポンプ台数	15
消防団員勤続年数	15
消防団員年令	16
消防団員の職業構成と就業形態	16
団員報酬	16
消防団受賞歴	16

## 火災予防

◇火災予防	17
火災予防条例に基づく届け出状況	17
(1)各種届け出状況	17
(2)防火対象物使用開始届出処理状況	18
消防設備等設置届処理状況	19
防火管理者届出状況	20
中高層建築物一覧表	21
用途別建築処理状況	22
◇危険物	23
危険物製造所等の推移	23
類別危険物製造所の状況	23
倍率別危険物製造所等の状況	24
◇査察	25
(1)危険物製造所等の査察実施状況	25
(2)防火対象物査察実施状況(事業所別)	26
(3)消防用設備等の改修検査等の状況	27

## 消防の活動

◇火災概要	28
火災の発生状況(過去10年間)	28
月別火災発生状況	29
◇消防隊の出場状況(火災・救急出動を除く)	30
月別救助・警戒出場状況	30
月別救急支援・応援火災出場状況	30
◇救急	31
救急出場件数推移	31
月別救急活動状況	32
曜日別救急発生状況	33
時間別救急発生状況	33
事故種別不搬送件数	34
地区別出場件数	34
覚知別、交通事故の道路別出場件数	34
所要時間別出場件数と搬送人員	34
傷病程度と年令別搬送人員	35
応急処置等実施状況	35
応急手当講習会実施状況	36

◇通信	37
通信系統図	37
◇災害出動体制	38
救助出動体制	38
水防（自然災害）出動と体制	39
消防相互応援協定	39
◇消防水利	40
消防水利の現勢調	40
◇気象	41
月別気象状況	41
気象予報等発表状況等調（県内に発表された気象通報回数）	42
過去5年間の気象	42
横浜地方気象台予報等発表状況等調	43

# 二宮町の概要

---

## ◇ 概要 ◇

二宮町は最初、師長（しなが）国に属する霜見という地名で呼ばれた東国の一山村でしたが、大化の改新（645年）で国、郡、里の制がとり入れられると相模国に合併されました。

また、その頃、級津彦命（しなつひこのみこと）などをまつる川勾神社が、寒川神社の相模国「一の宮」に対し「二の宮」と称され、地域の鎮守として多くの人々から信仰されました。この頃から霜見も含めてこの地方が「二宮」と呼ばれるようになりました。

江戸時代には、幕府直轄地となって、一色、中里、二宮、山西、川勾の五カ村による村制が施行され東海道の間の宿場として賑わいました。

明治22年に市町村制が施行され、五カ村が合併し吾妻村となって、同年東海道本線の開通、明治35年には二宮駅の開設と発展し、昭和10年11月、町制の施行で二宮町となりました。

昭和40年代からは、気候温暖で山と海に囲まれたなだらかな丘陵が住宅地として人気を集め、住宅の造成も急速に進められ年々人口が増加しました。

昭和57年には二宮駅舎が改良され、町の玄関が一新するとともに、道路、公園、体育館など公共施設の建設が進められて来ました。

現在は、公共下水道をはじめとする生活基盤の整備も進めており、よりよい住環境の実現のため新しいまちづくりを推進し、町制施行時半農半漁ののどかな村であった二宮町は、穏やか気候、風土があいまって住みよい湘南の住宅地として発展しながら現在に至っています。

## ▼ 位置と地勢 ▼

二宮町は、神奈川県南西部に位置し、東経139度15分18秒、北緯35度18分17秒(消防本部)に位置し、東京から約70kmの所にあり、東は大磯町に、北は丹沢連峰を背に中井町に、西は中村川を挟んで小田原市に隣接、南は相模湾に臨んでいます。

町の東西に東海道本線、東海道新幹線、国道1号線、西湘バイパスと小田原厚木バイパスが走り、南北に県道秦野二宮線があって、それぞれ町道と連結し交通至便なところです。

町全体の形状は、おおよそ三角形で南部に広く東西の幅3.3km、北に進むに従って狭く南北に3.8km、総面積は9.08km<sup>2</sup>で、地形的には山地部と平野部のバランスがとれていて、東西に分裂するかのよう2級河川の葛川が流れています。

気候は、冬暖かく夏涼しく、豊かな自然と新鮮な海の幸・山の幸に加え、純朴な風土と素晴らしい生活環境です。



## ▼ 人口の推移 ▼

《各年別》

各年4月1日現在

年別	項目 世帯数	人 口			1 世 帯 当 り の 人 口	人口密度 (人/km)	人口指数 (昭和60年 =100)
		計	男	女			
昭和60年	8,433	28,874	14,232	14,642	3.42	3,223	100.0
平成2年	9,850	29,415	14,409	15,009	2.99	3,283	101.9
平成7年	10,375	30,887	15,280	15,607	2.98	3,447	107.0
平成12年	10,935	31,099	15,287	15,812	2.84	3,471	107.7
平成17年	11,028	30,320	14,752	15,568	2.75	3,384	105.0
平成18年	11,028	30,078	14,588	15,490	2.73	3,357	104.2
平成19年	11,113	29,832	14,460	15,372	2.68	3,285	103.3
平成20年	11,143	29,591	14,339	15,252	2.66	3,259	102.5
平成21年	11,274	29,578	14,317	15,261	2.62	3,257	102.4
平成22年	11,388	29,633	14,375	15,258	2.60	3,264	102.6
平成23年	11,475	29,514	14,294	15,220	2.57	3,294	102.2
平成24年	11,438	29,325	14,217	15,108	2.56	3,273	101.6

《地区別》

各年4月1日現在

地区別	項目	平成24年		平成23年		平成22年	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
合計		29,325	11,438	29,514	11,475	29,633	11,388
一色		895	292	894	271	913	278
百合が丘		4,017	1,763	4,069	1,782	4,144	1,773
中里		3,310	1,279	3,271	1,238	3,270	1,237
富士見が丘		3,265	1,232	3,272	1,291	3,293	1,281
二宮		7,937	3,216	8,195	3,281	8,170	3,233
松根		492	175	468	158	474	156
山西		6,446	2,490	6,335	2,437	6,320	2,412
川匂		653	228	648	247	670	250
緑が丘		2,310	763	2,362	770	2,379	768

☆ 平成22年度国勢調査結果を基礎数値としています。



## ◇ 消防の予算 ◇

### ▼ 町予算と消防予算との比較 ▼

平成24年度の一般会計当初予算は、7,512,000 千円（前年度対比1.6%減）で、消防費の当初予算は363,148千円（前年度対比 14.4%減で）一般会計当初予算に占める割合は、4.8%となっています。

区 分 \ 年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
一 般 会 計 予 算	7,512,000 千円	7,635,000 千円	9,610,000 千円
消 防 予 算 額	363,148 千円	424,420 千円	368,706 千円
比 率	4.8%	5.6%	3.8%

### ▼ 消防予算額の内訳 ▼

内 訳	金 額	構 成	前 年 度 比
消 防 費	363,148 千円	100.0%	▲ 61,272 千円
常 備 消 防 費	338,863 千円	93.3%	▲ 54,743 千円
非 常 備 消 防 費	24,285 千円	6.7%	▲ 6,529 千円

### ▼ 消防費の人口比 ▼

当 初 予 算 額	1 世 帯 当 たり	人 口 1 人 当 たり
一 般 会 計 予 算 額	7,512,000 千円	656,758 円
消 防 予 算 額	363,148 千円	31,749 円
		256,164 円
		12,384 円

## ◇ 消防のあゆみ ◇

明治 12年	一色村に消防器具を備えた消防体制が整備される。
明治 17年	一色村に私設消防組が誕生。
明治 25年	中里地区に私設消防組が誕生し、その後二宮、梅沢、山西の各地区に消防組誕生。
明治 37年	公設消防組を設置。（一色、中里、二宮、山西の各消防組）
大正 12年 9月	関東大震災発生。圧死21名、焼死4名、重傷者26名、全焼6戸、全壊406戸、半壊364戸、罹災人員4,716人。
昭和 6年	二宮消防組の手押ポンプを廃し、ガソリンポンプに切替。
昭和 10年 10月	葛川氾濫による水害発生。流失6戸、半壊4戸、床上浸水137戸、床下浸水155戸、道路欠損39ヶ所、橋流失17ヶ所、罹災人員1,639人。
昭和 12年 9月	各地区消防組を統一、二宮消防組となる。
昭和 14年 4月	二宮町警防団となる。（警防団員431名）
昭和 15年 1月	南口駅前大火発生。全焼69戸、半焼4戸、焼失棟数106棟、罹災人員374名。
	1月 第1分団に消防ポンプ自動車を設置。
昭和 16年 7月	葛川氾濫による水害発生。流失9戸、床上浸水124戸、罹災人員2,940人。
昭和 23年 4月	消防組織法が施行され、自治体消防として消防団を設置。（4ヶ分団、消防団員258名）、二宮町消防団条例、規則、服務規程等を制定。
昭和 24年 6月	二宮町火災予防条例を制定。
昭和 27年 5月	第1回全国消防大会開かれる。
昭和 29年 4月	第2分団区域を2区域に分割、第2、第3分団とし、従来の第3、第4分団をそれぞれ、第4、第5分団と名称を変えて5個分団に組織替えし、1個分団20名編成となる。（団員数103名）
	11月 第3分団消防車庫を新築、同分団に消防ポンプ自動車、第4、第5分団に小型動力ポンプと積載車を配備。
昭和 30年 7月	県営水道が開通、消火栓を設置。
	10月 第2分団に消防ポンプ自動車を配備。
昭和 32年 8月	二宮町消防団員等公務災害補償条例・規則を制定。 第7回神奈川県消防操法大会に第2分団消防ポンプ自動車が出場。
昭和 33年 3月	(財)日本消防協会より表彰、竿頭綬を受ける。
	7月 二宮町消防団条例・規則を改定。
昭和 34年 11月	第1分団の消防ポンプ自動車を更新。
昭和 35年 8月	第10回神奈川県消防操法大会に第1分団消防ポンプ自動車が出場。
昭和 36年 9月	電話自動化により火災専用電話（119番）を役場に設置。
	12月 第4、第5分団の小型動力ポンプ更新。
昭和 37年 3月	消防庁長官より表彰、竿頭綬を受ける。
	7月 二宮町火災予防条例を改正。
昭和 38年 9月	第13回県消防操法大会に第5分団小型動力ポンプが出場。
昭和 39年 3月	第2分団消防車庫を新築。

- 昭和 39年 3月 二宮町消防団員退職報償金制度が確立され、市町村の支給責任の共済制度を設ける。  
二宮町非常勤消防団員に係る退職報償金支給条例を制定。
- 昭和 41年 1月 第4分団消防車庫を新築。  
10月 第16回県消防操法大会に第4分団小型動力ポンプが出場。  
12月 第4分団に消防ポンプ自動車を配置。(BS-I型)
- 昭和 42年 1月 第5分団消防車庫を新築。  
12月 第5分団に消防ポンプ自動車を配置。(BS-I型)
- 昭和 43年 3月 第1分団消防車庫を新築。  
3月 自治体消防発足20周年。  
(財)日本消防協会より表彰旗を受け、表彰旗の伝達、披露式典。  
4月 二宮町非常勤消防団員退職報償金支給条例施行規則及び二宮町消防団員服務規程を制定。  
8月 二宮町火災予防条例施行規則を制定。  
10月 第1回二宮町消防操法大会開催。
- 昭和 44年 10月 第2回二宮町消防操法大会開催。  
第19回県消防操法大会に第3分団消防ポンプ自動車が会場。
- 昭和 45年 3月 消防庁長官より表彰旗を受け、表彰旗の伝達、披露式典。  
12月 第3分団消防ポンプ自動車(水槽付)を更新。
- 昭和 46年 3月 二宮町課等設置条例の一部を改正し従来の総務課消防係より、4月1日付をもって消防課の設置を議決。  
4月 県消防学校教官山崎勝也氏の派遣を受け、1年間の創設業務と職員の教養指導を行う。  
6月 二宮町消防職員の特殊勤務手当に関する条例の制定。  
8月 神奈川県より救急車(トヨタMS66VY)寄贈。  
8月 第21回県消防操法大会に第2分団消防ポンプ自動車が会場。  
9月 二宮町救急業務規則、二宮町消防職員の勤務時間等規則を制定。  
救急業務開始(6日)。山崎消防課長以下職員15名。  
11月 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈。(BD-I型)  
12月 第2分団消防ポンプ自動車を更新。(BS-I型)  
二宮町消防本部及び消防署の設置等に関する条例、二宮町消防賞じゅつ金条例・規則の制定。
- 昭和 47年 1月 二宮町消防本部組織規則のほか、常備消防として必要な規則、規程を制定。  
2月 二宮町消防本部・消防署を設置。(職員20名 定員28名)  
消防署、水槽付消防ポンプ自動車を配置。(水-I B型)  
8月 第22回県消防操法大会に第1分団消防ポンプ自動車が会場。
- 昭和 48年 1月 屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入。(15m級)  
3月 第3分団消防車庫を新築。  
4月 消防職員定数33名となる。

- 昭和 48年 8月 第23回県消防操法大会に消防署が屈折はしご付消防ポンプ自動車基準操法で出場。
- 11月 自治体消防発足25周年記念式を行う。
- 昭和 49年 2月 消防署に台車付小型動力ポンプ配置。
- 4月 消防署に緊急工作車（小型動力ポンプ積載）を配置。
- 8月 第24回県消防操法大会に第5分団消防ポンプ自動車が出場。
- 9月 第1分団消防ポンプ自動車を更新。（BS-I型）
- 昭和 50年 9月 消防署車庫増築。
- 昭和 51年 4月 消防本部組織を一部変更、警防係を分割し予防係を新設。
- 8月 第26回県消防操法大会に第4分団消防ポンプ自動車が出場。
- 9月 藤田観光(株)より救急車の寄贈。
- 昭和 52年 9月 消防団条例改正審議始まる。
- 昭和 53年 3月 自治体消防発足30周年記念式を行う。
- 3月 消防団条例改正、議会で可決。
- 4月 消防団員103名から78名に減員。
- 8月 第28回県消防操法大会に第3分団が出場し、最優秀賞。
- 10月 全国消防操法大会に二宮町消防団として第3分団が出場。
- 昭和 54年 7月 消防署指令車更新。
- 昭和 55年 8月 第30回県消防操法大会に第2分団が出場。
- 昭和 56年 2月 二宮町防災備蓄倉庫落成。
- 11月 第4分団小型動力ポンプ更新。
- 昭和 57年 2月 (財)日本消防協会特別表彰「まとい」受賞。
- 3月 二宮町消防本部・消防署創設10周年及び日本消防協会特別表彰「まとい」受賞の記念式典を行う。
- 7月 第1・第2・第3分団小型動力ポンプを配備。  
従来からの第4・第5分団を含み全分団配備する。
- 8月 第32回県消防操法大会に第1分団が出場。
- 11月 消防署水槽付消防ポンプ自動車更新。
- 昭和 58年 6月 第5分団車庫移転、新築。
- 8月 第33回県消防操法大会に消防署が応用操法に出場。
- 10月 第4分団消防ポンプ自動車更新。（CD-I型）
- 昭和 59年 8月 第34回県消防操法大会に第5分団が出場。
- 昭和 60年 3月 消防署救急車更新。
- 10月 第5分団消防ポンプ自動車更新。（CD-I型）
- 昭和 62年 3月 (財)日本消防協会より表彰第2回目の竿頭綬受ける。
- 9月 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈。（BD-I型）
- 11月 第3分団消防ポンプ自動車更新。（CD-I型）
- 昭和 63年 7月 消防署指令車更新。
- 8月 第36回県消防操法大会に第4分団が出場し、優秀賞。  
(財)日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車寄贈。
- 平成 元年 10月 第2分団消防ポンプ自動車更新。（CD-I型）

- 平成 2年 7月 消防署救急車更新。
- 平成 3年 8月 消防署資機材搬送車を購入。  
9月 第1分団消防ポンプ自動車更新。(CD-I型)
- 平成 4年 4月 消防職員定数34名となる。防災担当職員1名町より派遣。  
7月 第38回県消防操法大会に第3分団が出場。  
9月 はしご付消防ポンプ自動車購入。(15m級)
- 平成 5年 4月 消防職員定数36名となる。
- 平成 6年 4月 消防職員定数37名となる。  
11月 救急救命士1名配置。
- 平成 7年 1月 阪神・淡路大震災に救助隊を応援派遣。  
11月 高規格救急自動車を購入。救急救命士1名配置(全2名)
- 平成 8年 4月 消防職員定数38名となる。  
7月 第40回県消防操法大会に第2分団が出場。  
12月 消防署水槽付消防ポンプ自動車更新。(水-IB型)
- 平成 9年 4月 防災係、総務部総務課へ移行。消防職員1名派遣。  
消防本部組織を一部変更、消防課を新設、1課3係となる。  
救急救命士1名配置。(全3名)  
11月 救急救命士1名配置。(全4名)
- 平成10年 3月 庁舎増設部完成、緊急情報システム更新。(I型)  
10月 庁舎既存部耐震補強工事完成。  
11月 第4分団消防ポンプ自動車更新。(CD-I型)  
12月 (財)日本消防協会へ第4分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。  
第4・第5分団小型動力ポンプ更新。
- 平成11年 9月 第2・4分団車庫耐震補強工事完了。  
11月 救急救命士1名配置。(全5名)
- 平成12年 7月 第42回県消防操法大会に第1分団が出場。  
8月 消防団無線を整備。(団本部・分団車両・携帯無線機)  
12月 第5分団消防ポンプ自動車更新。(CD-I型)
- 平成13年 1月 (財)日本消防協会へ第5分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。  
3月 高規格救急自動車を日本自動車工業会から寄贈される。  
3月 高度救命資器材等を整備。
- 平成14年 2月 消防署消防ポンプ自動車更新。(CD-I型・災害対応特殊仕様)
- 平成15年 10月 第3分団消防ポンプ自動車更新。(CD-I型)  
11月 救急救命士1名配置。(全6名)  
12月 (財)日本消防協会へ第3分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。
- 平成16年 7月 第44回県消防操法大会に第5分団が出場。消防署積載車更新。
- 平成17年 4月 消防職員定数46名となる。消防職員2名採用する。  
10月 第2分団消防ポンプ自動車更新。(CD-I型)  
12月 (財)日本消防協会へ第2分団旧消防ポンプ自動車を寄贈。
- 平成18年 4月 消防職員3名採用する。  
平塚市消防本部と職員交流実施、1名派遣。  
救急救命士1名配置。(全7名)  
12月 消防署救助工作車購入。(II型)

- 平成 19年 4月 消防職員3名採用する。  
消防職員1名を総務部（防災安全係）へ派遣。
- 8月 第1分団消防ポンプ自動車更新。（CD-I型）
- 平成 20年 2月 (財)日本消防協会から広報車寄贈。
- 4月 消防職員4名採用する。  
消防職員2名を総務部（防災安全係）へ派遣。  
救急救命士1名配置。（全7名）
- 7月 第46回県消防操法大会に第4分団が出場。
- 平成 21年 2月 第1分団消防車庫を更新。
- 3月 高規格救急自動車を日本自動車工業会から寄贈される。  
高度救命資器材等を整備。
- 4月 組織・機構改革により、班長制の導入。  
消防職員3名採用する。  
消防職員3名を町民生活部（防災安全課）へ派遣。  
救急救命士1名配置。（全8名）
- 7月 消防署指令車購入。
- 平成 22年 4月 消防職員3名を町民生活部（防災安全課）へ派遣。  
救急救命士1名配置。（全9名）
- 9月 (財)日本外交協会へ消防署旧はしご付消防ポンプ自動車を寄贈。
- 平成 23年 3月 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊（計2隊・13名）を派遣。
- 4月 消防職員2名採用する。  
消防職員2名を町民生活部（防災安全課）へ派遣。  
消防職員1名を都市経済部（都市整備課）へ派遣。  
救急救命士1名配置。（全10名）
- 平成 24年 1月 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入。（I-B型）
- 2月 (財)日本外交協会へ消防署旧水槽付消防ポンプ自動車を寄贈。
- 4月 消防職員2名採用する。  
消防職員2名を町民生活部（防災安全課）へ派遣。  
消防職員1名を都市経済部（都市整備課）へ派遣。  
救急救命士1名配置。（全11名）
- 7月 第48回県消防操法大会に第3分団が出場。

# 消防の現況

---

## ◇ 消防力の現況 ◇

### ▼ 職員の定員と実員 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級 区分	計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	事務 員	派遣 員
定員	46	階級別定員なし							
実員	45	1	6	6	9	12	7	1	3

### ▼ 消防勢力 ▼

(平成24年4月1日現在)

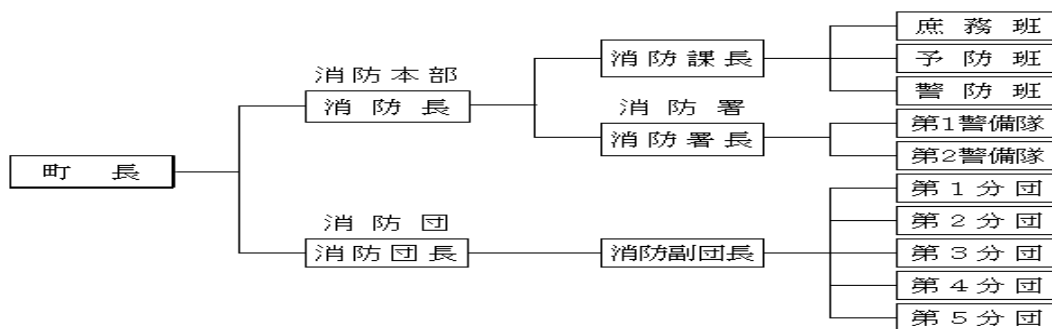
種別 区分	消防職員			消防団員			消防ポンプ車		
現況	45人			76人			7台		
基準単位	消防職員1名当り			消防団員1名当り			消防ポンプ車1台当り		
区分	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯
算定数値	0.20	651.7	254.2	0.12	385.9	150.5	1.30	4,189.3	1,634.0



# ◇ 消防の組織 ◇

## ▼組織図▼

(平成24年4月1日現在)



## ▼歴代消防長▼

代別	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	摘要
初代	脇 哲	昭和47年 2月 1日	昭和49年11月30日	2年10月	助役兼任
2	柳川 賢二	昭和49年12月 1日	昭和50年 1月31日	2月	町長兼任
3	池田 準一	昭和50年 2月 1日	昭和56年 7月31日	6年 5月	助役兼任
4	渡辺 正太郎	昭和56年 8月 1日	昭和59年 6月30日	2年11月	
5	岩本 公夫	昭和59年 7月 1日	昭和61年 3月31日	1年 9月	
6	加藤 孝次	昭和61年 4月 1日	平成 2年 3月31日	4年	
7	橋川 吉一	平成 2年 4月 1日	平成 2年12月31日	9月	
8	川口 喜宏	平成 3年 1月 1日	平成 8年 3月31日	5年 3月	
9	露木 豊	平成 8年 4月 1日	平成 8年 7月 8日	3月	
10	西山 喜介	平成 8年 7月 9日	平成 9年 3月31日	9月	助役兼任
11	脇 純治	平成 9年 4月 1日	平成10年12月31日	1年 9月	
12	古谷 一夫	平成11年 1月 1日	平成17年 3月31日	6年 3月	
13	菊地 元	平成17年 4月 1日	平成20年 3月31日	3年	
14	原 幸男	平成20年 4月 1日	平成23年 3月31日	3年	
15	加藤 義則	平成23年 4月 1日	平成24年 3月31日	1年	
16	西山 弘和	平成24年 4月 1日		現 在	

## ▼歴代消防団長▼

代別	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間
初代	西山 喜八郎	昭和23年4月1日	昭和25年 3月31日	2年
2	片岡 彦十郎	昭和25年4月1日	昭和27年 3月31日	2年
3	小沢 新治	昭和27年4月1日	昭和31年 3月31日	4年
4	添田 靖一	昭和31年4月1日	昭和33年 3月31日	2年
5	西山 信次	昭和33年4月1日	昭和35年 3月31日	2年
6	野谷 仲造	昭和35年4月1日	昭和37年 3月31日	2年
7	原 兼太郎	昭和37年4月1日	昭和39年 3月31日	2年
8	柳川 賢二	昭和39年4月1日	昭和43年 3月31日	4年
9	原 久雄	昭和43年4月1日	昭和49年 3月31日	6年
10	渡辺 正太郎	昭和49年4月1日	昭和53年 3月31日	4年
11	西山 昇	昭和53年4月1日	昭和57年 3月31日	4年
12	脇 政雄	昭和57年4月1日	昭和61年 3月31日	4年
13	露木 昭治	昭和61年4月1日	平成 4年 3月31日	6年
14	古木 定男	平成 4年4月1日	平成 6年 3月31日	2年
15	簗島 保男	平成 6年4月1日	平成12年 3月31日	6年
16	二見 泰弘	平成12年4月1日	平成16年 3月31日	4年
17	柳川 駅司	平成16年4月1日	平成20年 3月31日	4年
18	杉崎 一夫	平成20年4月1日		現 在

## ▼ 消防本部の仕事 ▼

消防本部は、市町村の消防事務を統括する機関で、人事・予算・消防の企画運営などの事務を行い、次のように各班に分かれて仕事を受け持っています。

### 《庶務班》

予算の編成・執行の調整、文書の送受・保存、例規の制定・改廃、職・団員の人事・公務災害・福利厚生、庁舎の維持管理、消防団の庶務、その他、他の班に属さないもの。

### 《予防班》

火災予防計画・指導、火災予防広報・啓発、防火管理、消防用設備の設置指導、危険物の貯蔵取扱い指導・規制、火気取扱い指導、建築物等の許認可の同意、その他、火災予防に関すること。

### 《警防班》

消防警備計画、消防相互応援協定、消防力整備計画、消防水利施設の整備・管理等、消防職員・消防団員の訓練、資機材・車両の管理運用、水防、応急手当等の普及、その他、警防に関すること。

## ▼ 消防署の仕事 ▼

消防署は、火災の予防・警戒・鎮圧・救急救助などの活動の第1線部隊としての仕事をしており、主な仕事は次のようになっています。

### 《警備隊》

災害の警戒、防ぎよ活動、救急・救助活動、火災の原因・損害調査、消防気象観測、地理・水利調査、車両・通信機器の運用・点検整備、災害危険箇所の調査、その他、災害に関すること。

## ▼ 消防庁舎の概要 ▼

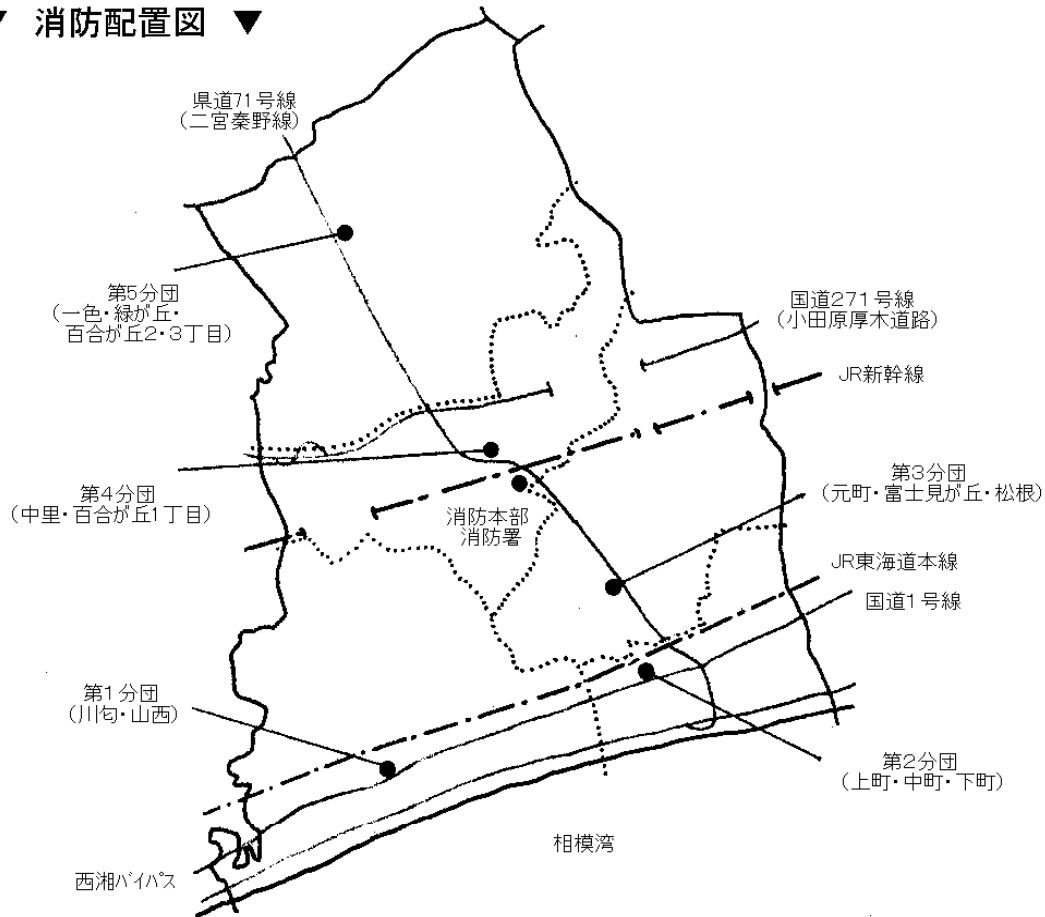
所在地	二宮町中里711-1番地			
構造	① 鉄筋コンクリート造2階建			(既存棟)
	② 鉄骨造2階建			(増設棟)
建築面積	① 360.24 m <sup>2</sup>			
	② 345.12 m <sup>2</sup>	計	705.36	m <sup>2</sup>
延面積	① 676.14 m <sup>2</sup>			
	② 536.95 m <sup>2</sup>	計	1,213.09	m <sup>2</sup>
敷地面積	1,394.17 m <sup>2</sup>			
竣工	① 昭和47年1月31日			
	② 平成10年9月30日			

▼ 消防ポンプ車等配置状況 ▼

(平成24年4月1日現在)

種 別	社名 年式	ポンプ 製作所	ポンプ 検 定	規 格			定員	総重量 kg	燃料	総排気量 L	購 入 年 月		
				長さ m	幅 m	高さ m							
消 防 署	災害対応特殊 水槽付消防 ポンプ自動車	日野 H23	長野 ポンプ	A 2	7.30	2.35	3.40	6	11,300	軽油	6,403	H24. 1	
	普通消防 ポンプ自動車	三菱 H14	モリタ	A 2	5.45	1.88	2.85	5	4,955	軽油	5,240	H14. 2	
	救急車 1 (高規格)	日産 H21	—	—	5.64	1.90	2.47	7	3,125	ガソリン	3,490	H21. 3	
	救急車 2 (高規格)	イスゞ H13	—	—	5.69	2.07	2.74	8	5,180	軽油	4,980	H13. 3	
	救助工作車	日野 H18	—	—	7.48	2.30	3.20	6	9,780	軽油	6,400	H18.12	
	指 令 車	トヨタ H21	—	—	4.63	1.69	1.86	7	1,885	ガソリン	1,990	H21. 7	
	積 載 車	日産H16	—	—	4.67	1.69	2.20	6	3,270	ガソリン	1,990	H16. 7	
	広 報 車	ダイハツH20	—	—	3.39	1.47	1.92	4	1,460	ガソリン	650	寄 贈	
	小 ポ ン プ	シハウラ	芝浦機械	B 3	0.74	0.54	0.73	—	93	ガソリン	486	S63. 7	
フット		富士ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H12.12		
消 防 団	第 一 分 団	普通消防 ポンプ自動車	イスゞ H 19	モリタ	A 2	5.83	1.88	2.45	9	4,435	軽油	2,990	H19. 8
		小型動カ ポンプ	フット	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H13. 9
	第 二 分 団	普通消防 ポンプ自動車	イスゞ H 17	モリタ	A 2	5.65	1.88	2.45	9	4,075	軽油	4,770	H17.10
		小型動カ ポンプ	フット	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H13. 9
	第 三 分 団	普通消防 ポンプ自動車	イスゞ H15	モリタ	A 2	5.65	1.88	2.45	9	4,085	軽油	4,770	H15.10
		小型動カ ポンプ	フット	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H13. 9
	第 四 分 団	普通消防 ポンプ自動車	イスゞ H10	モリタ	A 2	5.48	1.88	2.40	9	3,975	軽油	4,570	H10.11
		小型動カ ポンプ	フット	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H11.10
		普通消防 ポンプ自動車	イスゞ H12	モリタ	A 2	5.48	1.88	2.45	9	4,335	軽油	4,570	H12.12
	第 五 分 団	小型動カ ポンプ	フット	富士 ロビン	B 3	0.66	0.58	0.72	—	88	ガソリン	635	H11.10

▼ 消防配置図 ▼



▼ 平成23年度の主要行事 ▼

- 4月9日 新入団員消防訓練指導  
     ↳ (延べ4日間、普通救命講習含む)
- 4月17日
- 5月15日 消防署、消防団消防ポンプ性能検査
- 8月23日 湘南地区消防救助交流会に出場
- 9月10日 消防団員体力錬成大会
- 10月25日 神奈川県消防職団員消防慰霊祭に出席
- 11月6日 にのみやふるさとまつり (消防本部・消防団参加)  
     ・ 消防ふれあいコーナー (消防車両展示・消火体験)
- 11月9日  
     ↳ 秋の火災予防運動
- 11月15日
- 12月25日 歳末火災特別警戒実施  
     ↳ (消防職団員特別巡視・28日)
- 12月31日
- 1月8日 消防出初式 (山西小学校校庭)
- 3月1日 春の火災予防運動  
     ↳ (消防署・消防団合同訓練、ポスター配布)
- 3月7日

## ◇ 消防職員 ◇

### ▼ 消防職員の年齢 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級 区分	計	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	事 務 吏 員	派 遣 職 員
人員合計	45	1	6	6	9	12	7	1	3
18～19才	0								
20～25才	9					3	6		
26～30才	9					8	1		
31～35才	1					1			
36～40才	6				5				1
41～45才	6			1	4				1
46～50才	0								
51～55才	7		3	2				1	1
56～60才	7	1	3	3					
平均年齢	39.1	59.0	55.0	44.3	39.6	25.8	23.4	55.0	46.3

### ▼ 消防職員の勤続年数 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級 区分	計	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	事 務 吏 員	派 遣 職 員
計	45	1	6	6	9	12	7	1	3
0～4年	11					3	7	1	
5～9年	8					8			
10～14年	2				1	1			
15～19年	6				5				1
20～24年	4			1	3				
25～29年	1								1
30～34年	2		1	1					
35年以上	11	1	5	4					1
平均年数	17.6	40.0	37.0	34.5	18.0	5.5	1.8	1.0	27.0

### ▼ 消防職員居住地状況 ▼

(平成24年4月1日現在)

居 住 地 名	町 内									町 外								合 計	
	一 色	緑 が 丘	中 里	富 士 見 が 丘	二 宮	山 西	百 合 が 丘	松 根	小 計	大 磯 町	中 井 町	寒 川 町	小 田 原 市	秦 野 市	平 塚 市	藤 沢 市	そ の 他		小 計
人員	2	1	3	1	9	6	1	0	23	3	1	1	5	7	3	1	1	22	45

## ◇ 消防団 ◇

### ▼ 消防団員の定員と実員数 ▼

(平成24年4月1日現在)

消防団数	分団数	階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
		人員							
1	5	定 員	78	1	2	5	5	30	35
		実 員	76	1	2	5	5	30	33

### ▼ 消防団員の内訳とポンプ台数 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級・ ポンプ 所属	消 防 団 員 数							ポ ン プ 台 数		
	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員	計	消防ポンプ 自 動 車	小型動力 ポ ン プ
計	76	1	2	5	5	30	33	10	5	5
本 部	3	1	2							
第 1 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 2 分 団	13			1	1	6	5	2	1	1
第 3 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 4 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1
第 5 分 団	15			1	1	6	7	2	1	1

### ▼ 消防団員勤続年数 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級 年 数	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
合 計	76	1	2	5	5	30	33
1 年 未 満	12						12
1 年 ～ 4 年	36					15	21
5 年 ～ 9 年	22			3	4	15	
10 年 ～ 19 年	6	1	2	2	1		
20 年 ～ 29 年	0						
平均年数	4.2	19.0	14.5	9.6	7.6	4.8	1.2

▼ 消防団員年令 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級 年 数	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
合 計	76	1	2	5	5	30	33
21才～25才							
26才～30才	8						8
31才～35才	13					7	6
36才～40才	28			1	2	15	10
41才～45才	20			3	3	8	6
46才～50才	5		1	1			3
51才～55才	1		1				
56才 以上	1	1					
平 均 年 齢	38.7	57.0	51.5	44.0	41.2	38.1	36.6

▼ 消防団員の職業構成と就業形態 ▼

(平成24年4月1日現在)

計	職 業 構 成													計	就 業 形 態							
	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	熱 電 力 業	運 輸 業	飲 食 業	卸 売 業	金 融 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業		公 務 員	さ れ な い も の	そ の 他	被 用 者	役 員	被 用 者 の あ る 業 主	被 用 者 の な い 業 主	家 族 従 事 者
76	1				9	18	2	3	9	6	2	10	7	9	76	56	4	5	2	9	0	0

▼ 団員報酬 ▼

(平成24年4月1日現在)

階級 区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年 額	135,000円	90,000円	49,000円	40,000円	33,000円	33,000円
警戒・訓練等	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円
災 害 出 動	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円

▼ 消防団受賞歴 ▼

団体

受章年度	表 彰 区 分	受章年度	表 彰 区 分
昭和33年度	日本消防協会竿頭綬	昭和57年度	日本消防協会特別表彰「まとい」
昭和37年度	消防庁竿頭綬	昭和62年度	日本消防協会竿頭綬 (再受賞)
昭和43年度	日本消防協会表彰旗	平成17年度	神奈川県消防協会竿頭綬
昭和45年度	消防庁表彰旗		
昭和53年度	神奈川県消防操法大会最優秀賞		

個人

受 章 者	表 彰 区 分	受 章 日
原 久雄	木 杯	昭和62年11月 3日
露木 昭治	勲七等瑞宝章	平成 7年11月 7日
西山 昇	勲六等瑞宝章	平成10年 4月29日
柳川 駅司	消 防 庁 長 官	平成18年 3月 3日

# 火災予防

---



## ◇ 火災予防 ◇

### ▼ 火災予防条例に基づく届出状況 ▼

#### (1) 各種届出状況

年 度	平成 2 1 年	平成 2 2 年	平成 2 3 年
各種届出			
合 計	29	33	38
炉 設 備			
厨 房 設 備			
温 風 暖 房 機 設 備			
ボ イ ラ ー 設 備	1	1	
給 湯 湯 沸 設 備			
乾 燥 設 備			
サ ウ ナ 設 備			
ヒートポンプ冷暖房機設備			
火花を生ずる設備			
放 電 加 工 機 設 備			
変 電 設 備		2	2
発 電 設 備			2
蓄 電 池 設 備			
ネ オ ン 管 灯 設 備			
火災と紛らわしい行為等	19	23	28
煙火の打上げ、仕掛け等	5	5	3
催 物 の 開 催 等		1	1
指 定 洞 道 等			
少量危険物貯蔵・取扱	4	1	2
指定可燃物貯蔵・取扱			

(2) 防火対象物使用開始届出処理状況

防火対象物項目		年 中	平成21年	平成22年	平成23年
		合 計	7	13	15
1項	イ	映 画 館			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1		
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性 風 俗 関 連 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等 個 室 型 店 舗			
3項	イ	料 理 店 等		4	
	ロ	飲 食 店 等			2
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	2		1
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル			
	ロ	共 同 住 宅	2	1	4
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所			1
	ロ	福 社 施 設 等			1
	ハ	福 社 施 設 等	1	2	1
	ニ	幼 稚 園 等		1	
7項		学 校			
8項		図 書 館 等			1
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10項		駅 舎			1
11項		神 社 等			
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場			
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13項	イ	駐 車 場 等			
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等			
14項		倉 庫 等			
15項		事 務 所 等	1	5	3
16項	イ	特 定 複 合 用 途			
	ロ	複 合 用 途			
16項の2		地 下 街			
16項の3		16 項 2 以 外 の 地 階			
17項		重 要 文 化 財 等			
18項		ア ー ケ ー ド			

※ 6項ロに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるもの。

※ 6項ハに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。

▼ 消防用設備等設置届処理状況 ▼

防火対象物項目		年 中	平成21年	平成22年	平成23年
		合 計	7	12	21
1項	イ	映 画 館			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1		2
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性 風 俗 関 連 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等 個 室 型 店 舗			
3項	イ	料 理 店 等		1	
	ロ	飲 食 店 等			
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	2		3
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル			
	ロ	共 同 住 宅	2	1	5
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所			1
	ロ	福 社 施 設 等		2	3
	ハ	福 社 施 設 等	1	2	1
	ニ	幼 稚 園 等		2	
7項		学 校			
8項		図 書 館 等			1
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10項		駅 舎			1
11項		神 社 等			
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場			
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13項	イ	駐 車 場 等			
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等			
14項		倉 庫 等			
15項		事 務 所 等	1	4	4
16項	イ	特 定 複 合 用 途			
	ロ	複 合 用 途			
16項の2		地 下 街			
16項の3		16 項 2 以 外 の 地 階			
17項		重 要 文 化 財 等			
18項		ア ー ケ ー ド			

※ 6項ロに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるもの。

※ 6項ハに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。

▼ 防火管理者届出状況 ▼

平成24年4月1日現在

防火対象物項目		対象物数・届出数	消防法17条 対 象 物	消防法第8条 対 象 物	防火管理者 届出済対象物
合 計			478	159	145
1項	イ	映 画 館			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	37	20	17
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	性 風 俗 関 連 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等 室 型 店 舗			
3項	イ	料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等	19	14	12
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	38	17	15
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	5	2	1
	ロ	共 同 住 宅	78	41	35
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	20	2	2
	ロ	福 社 施 設 等	7	7	7
	ハ	福 社 施 設 等	18	10	10
	ニ	幼 稚 園 等	5	5	5
7項		学 校	8	7	7
8項		図 書 館 等	1	1	1
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10項		駅 舎			
11項		神 社 等	19	3	3
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	43	3	3
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13項	イ	駐 車 場 等			
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等			
14項		倉 庫 等	8	0	0
15項		事 務 所 等	62	14	14
16項	イ	特 定 複 合 用 途	72	10	10
	ロ	複 合 用 途	38	3	3
16項の2		地 下 街			
16項の3		16 項 2 以 外 の 地 階			
17項		重 要 文 化 財 等			
18項		ア ー ケ ー ド			

※ 6項ロに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるもの。

※ 6項ハに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。

▼ 中高層建築物一覧表 ▼

平成24年4月1日現在

防火対象物項目		階 数	3階・4階	5階	6階	7階	8階
		合 計	103	31	3	0	1
1項	イ	映 画 館					
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	3				
2項	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等					
	ハ	性 風 俗 関 連 等					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等 個 室 型 店 舗					
3項	イ	料 理 店 等					
	ロ	飲 食 店 等	2				
4項		店 舗 ・ マ ー ケ ッ ト	5				
5項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	1				
	ロ	共 同 住 宅	15	29	3		1
6項	イ	病 院 ・ 診 療 所	4				
	ロ	福 社 施 設 等	3				
	ハ	福 社 施 設 等	5				
	ニ	幼 稚 園 等					
7項		学 校	12	1			
8項		図 書 館 等					
9項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場					
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場					
10項		駅 舎					
11項		神 社 等					
12項	イ	工 場 ・ 作 業 場	2				
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等					
13項	イ	駐 車 場 等					
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫 等					
14項		倉 庫 等	1				
15項		事 務 所 等	15				
16項	イ	特 定 複 合 用 途	23				
	ロ	複 合 用 途	12	1			
17項		重 要 文 化 財 等					

※ 6項ロに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるもの。

※ 6項ハに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。

▼ 用途別建築処理状況 ▼

用途別			年・件数・面積		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
			件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡		
合計			102	21,108.97	96	24,909.34	101	25,184.54		
1項	イ	映画館								
	ロ	公会堂・集会場			1	967.54	1	477.00		
2項	イ	キャバレー等								
	ロ	遊技場等								
	ハ	性風俗関連等								
	ニ	カラオケボックス等 個室型店舗								
3項	イ	料理店等								
	ロ	飲食店等			1	375.28				
4項		店舗・マーケット	1	74.75	1	259.68	3	2,709.95		
5項	イ	旅館・ホテル								
	ロ	共同住宅			2	568.10	4	1,083.01		
6項	イ	病院・診療所						1	1,136.02	
	ロ	福祉施設等				1	2,477.19			
	ハ	福祉施設等	2	1,291.98	1	2,602.30	2	307.75		
	ニ	幼稚園等								
7項		学校								
8項		図書館等						1	967.54	
9項	イ	蒸気・熱気浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場								
10項		駅舎								
11項		神社等						1	177.77	
12項	イ	工場・作業場	1	1,700.72	1	489.08				
	ロ	映画・スタジオ等								
13項	イ	駐車場等								
	ロ	飛行機の格納庫等								
14項		倉庫等								
15項		事務所等	3	889.86	4	2,957.36	2	3,141.50		
16項	イ	特定複合用途								
	ロ	複合用途			1	209.30				
17項		重要文化財等								
18項		アンケート								
専用住宅			95	17,151.66	83	14,003.51	86	15,184.00		

## ◇ 危険物 ◇

### ▼ 危険物製造所等の推移 ▼

区 分		年 度			
		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	
総 数		22	21	21	
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	1	1	1	
	屋内タンク貯蔵所				
	地下タンク貯蔵所	10	9	9	
	簡易タンク貯蔵所				
	移動タンク貯蔵所	1	1	1	
	屋 外 貯 蔵 所				
取 扱 所	給油取扱所	営 業	2	2	2
		自 家			
	販売取扱所	第 1 種			
		第 2 種			
	一 般 取 扱 所	7	7	7	

### ▼ 類別危険物製造所の状況 ▼

区 分		施 設 数						
		合計 (件)	第1類 (L)	第2類 (L)	第3類 (L)	第4類 (L)	第5類 (L)	第6類 (L)
製造所等の別								
合 計		21				235,420		
製 造 所								
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1				2,400		
	屋外タンク貯蔵所	1				1,900		
	屋内タンク貯蔵所							
	地下タンク貯蔵所	9				41,900		
	簡易タンク貯蔵所							
	移動タンク貯蔵所	1				2,000		
	屋 外 貯 蔵 所							
取 扱 所	給油取扱所	営 業	2			140,000		
		自 家						
	販売取扱所	第 1 種						
		第 2 種						
	一 般 取 扱 所	7				47,220		

▼ 倍率別危険物製造所等の状況 ▼

平成24年4月現在

倍率別 製造所等の別		合計	五倍以下	五倍を超え 十倍以下	十倍を超え 五十倍以下	五十倍を超え 百倍以下	百倍を超え 百五十倍以下	百五十倍を超え 二百倍以下	二百倍を超え 五千倍以下
合計		21	11	5	2	0	1	1	1
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	1						
	屋外タンク貯蔵所	1	1						
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	9	5	1	2		1		
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	1	1						
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所	営業	2					1	1
		自家							
	販売取扱所	第1種							
		第2種							
	一般取扱所	7	3	4					

区分 製造所等の別		許可		完成		水張 水圧 検査	廃止届	仮使用	仮貯蔵 ・ 取扱
		設置	変更	設置	変更				
合計		12	0	0	0	12	0	0	0
製造所						12			
貯蔵所	屋内貯蔵所								
	屋外タンク貯蔵所								
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所								
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所								
	屋外貯蔵所								
取扱所	給油取扱所	営業							
		自家							
	販売取扱所	第1種							
		第2種							
	一般取扱所								



## ◇ 査 察 ◇

### (1) 危険物製造所等の査察実施状況

平成23年中

区分	実施件数 製造所等の総数	査察実施数	口頭 指導 件数	指導 件数	是正件数
合計	22	21	1		
製造所	0	0			
屋内貯蔵所	1	1			
屋外タンク貯蔵所	1	1			
屋内タンク貯蔵所	0	0			
地下タンク貯蔵所	10	9	1		
簡易タンク貯蔵所	0	0			
移動タンク貯蔵所	1	1			
屋外貯蔵所	0	0			
給油取扱所	2	2			
第1種販売取扱所	0	0			
第2種販売取扱所	0	0			
一般取扱所	7	7			

## (2) 防火対象物査察実施状況(事業所別)

平成23年中

防火対象物項目		年 度	防火対象物数	査察実施数	指導件数	是正件数
合 計			483	7	0	0
1項	イ	映 画 館				
	ロ	公会堂・集会場	37			
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連等				
	ニ	カラオケボックス等 個室型店舗				
3項	イ	料理店等				
	ロ	飲食店等	19	2		
4項		店舗・マーケット	37	2		
5項	イ	旅館・ホテル	5			
	ロ	共同住宅	78			
6項	イ	病院・診療所	20			
	ロ	福祉施設等	7			
	ハ	福祉施設等	17			
	ニ	幼稚園等	5			
7項		学 校	8			
8項		図書館等	1			
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅 舎				
11項		神 社 等	19			
12項	イ	工場・作業場	51			
	ロ	映画・スタジオ等				
13項	イ	駐 車 場 等				
	ロ	飛行機の格納庫等				
14項		倉 庫 等	8			
15項		事 務 所 等	61	3		
16項	イ	特定複合用途	72			
	ロ	複 合 用 途	38			

※ 共同住宅（5項ロ）に関しては、消火器のみの設置が大半のため、査察は実施していません。

※ 6項ロに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるもの。

※ 6項ハに関しては、主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。

(3) 消防用設備等の改修検査等の状況

平成23年中

件数 消防用設備等	着工届・設置届等	検査
合計	42	42
消火器	8	8
屋内消火栓	1	1
スプリンクラー設備	3	3
水噴霧消火設備		
屋外消火栓設備		
自動火災報知設備	11	11
ガス漏れ火災警報器		
漏電火災警報器		
消防機関へ通報する 火災報知設備	4	4
非常警報設備	3	3
避難器具	5	5
誘導灯	7	7
連結散水栓設備		
連結送水管設備		
非常電源		

# 消防の活動

---



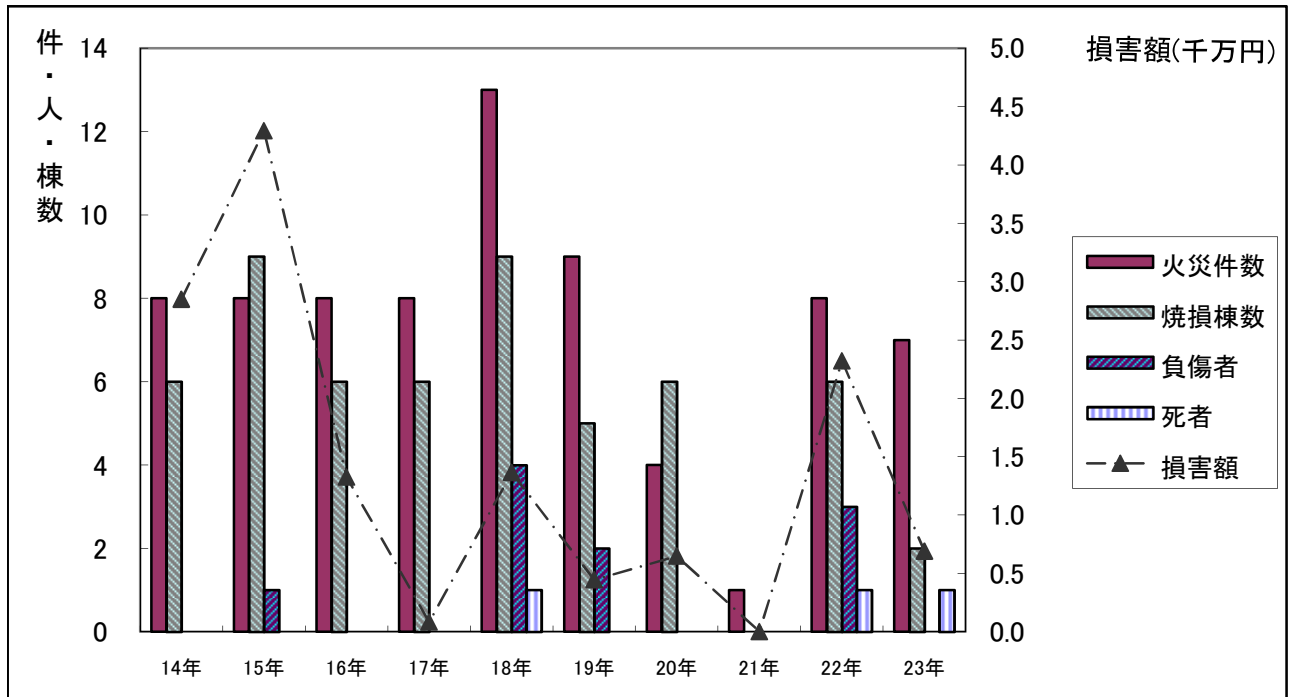
## ◇ 火災概要 ◇

### ▼火災の発生状況(過去10年間)▼

平成23年中の火災発生状況は建物火災2件(全焼1件、半焼1件)、車両火災3件、その他火災2件の計7件でした。前年と比較すると、建物火災件数は減少しましたが、車両・その他火災が増加しています。全国的には、人口1万人あたりの出火率が3.7件であるため、住民の防火意識の高さが伺えます。火災による死傷者を出さないためにも、日頃から火気の手扱いに注意し、特に乾燥している時期の夜間は近隣住民が互いに細心の注意を促す必要があります。

区分 年中	火災種別							死 傷 者	負 傷 者	り 災 世 帯	り 災 人 員	損 害 額 合 計 (千円)	損 害 額		焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積 (㎡)
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 隻	航 空 機	そ の 他						建 物 火 災 (千円)	建 の 物 火 災 以 外 火 災 (千円)		
平成14年	8	6		2					4	15	28,478	28,111	367	6	146(1)	
〃 15年	8	6				2	1	8	22	42,927	42,927		9	498		
〃 16年	8	5	1			2		4	14	13,248	13,248		6	54(5)		
〃 17年	8	6		1		1		3	6	826	447	379	6	12(3)		
〃 18年	13	9				4	1	4	6	13,641	13,635	6	9	349(2)		
〃 19年	9	5		2		2	2	3	7	4,461	4,421	40	5	69(1)		
〃 20年	4	4						6	13	7,861	6,191	1,670	6	132(60)		
〃 21年	1			1						6		6				
〃 22年	8	8					1	3	5	18	23,204	23,204	6	454(17)		
〃 23年	7	2		3		2	1	2	4	6,925	6,630	295	2	106		

※建物焼損面積の( )は表面積



▼月別火災発生状況▼

(平成23年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火災種別	建物		2			1									1		
	林野																
	車両		3			2		1									
	その他		2	2													
原因大別	失火		3	2		1											
	放火・疑い																
	不明		4			2		1							1		
	その他																
死傷者	死者		1												1		
	負傷者																
建物	焼火	全焼	1													1	
		半焼	1			1											
	元棟	部分焼															
		ぼや															
	棟類	全焼															
		半焼															
	焼棟	部分焼															
		ぼや															
	火災帯	り	全損	1													1
			半損	1			1										
小損																	
計		2			1										1		
り	災者数	4			2										2		
焼損面積	全焼	全焼	54													54	
		半焼	52			52											
	部分焼	部分焼															
		ぼや															
計	106			52											54		
林野焼損面積(a)																	
車両(台数)			3			2		1									
その他焼損面積(m <sup>2</sup> )			817	817													
損害見積額	家屋	建物	5,283			2,528									2,755		
		収容物	1,347			988									359		
	林野																
	車両	295			68		227										
	その他																
計(千円)			6,925			3,584		227							3,114		

◇ 消防隊の出場状況(火災、救急出動は除く) ◇

▼ 月別救助出場状況 ▼

(平成23年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
救助事例	交通事故		3	1			1						1		
	救助者		3	1			1						1		
	その他		5	2				1	1					1	
	救助者		4	2				1	1						
	合計		8	3			1	1	1				1	1	
傷病者情報	救助者計		7	3			1	1	1				1		
	死亡														
	重症		1										1		
	中等症		4	3			1								
	軽症		1					1							
合計		6	3			1	1					1			

▼ 月別警戒出場状況 ▼

(平成23年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種別	火災警戒		9	1	2	1			1			1	2		1
	危険排除		2	1											1
	その他		9					1		1	1	3	1	2	
	合計		20	2	2	1		1	1	1	1	4	3	2	2

▼ 月別救急支援出場状況 ▼

(平成23年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種別	Drへり支援		9	1		5	1			1		1			
	交通事故支援		16	1	1	1		1		1	2	6	2		1
	CPA搬送支援		35	3	2		6	6	1		4	1	3	6	3
	その他		61	11	5	4	1	8	4	4	3	2	6	9	4
	合計		121	16	8	10	8	15	5	6	9	10	11	15	8

▼ 月別応援火災出場状況 ▼

(平成23年中)

区分		月	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
種別	大磯町内		2	1					1						
	小田原市内														
	中井管内														
	平塚管内														
	合計		2	1					1						

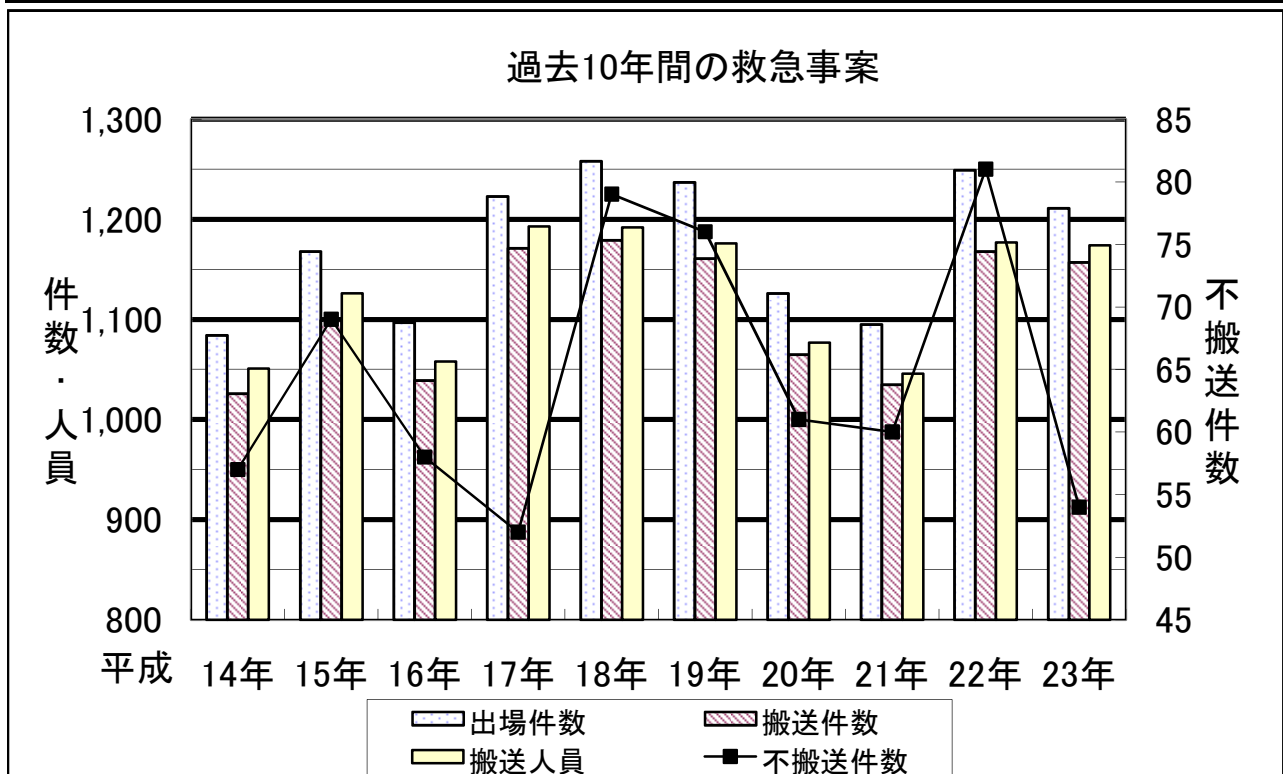
## ◇ 救 急 ◇

### ▼救急出場件数推移▼

平成23年中の救急出動件数は減少していますが、高齢者の搬送件数は増加しており、今後も緩やかな上昇が予測されます。覚知から病院までの平均収容所要時間は33.5分でした。

1台目の救急車の出場中に救急要請が重なり、2台目の救急車が出場した件数は144件でした。なお、救急車2台とも出場中に救急要請があり、隣接消防に応援出場の要請を依頼した件数は15件です。救急搬送した患者の傷病程度別で見ると軽症の方が39%、中等症50%、重症8%で、救急隊が現場に到着したときすでに心肺停止状態の方は約3%でした。

年	区分	出場件数	搬送件数	搬送人員	不搬送件数	一日平均
平成	14年	1,084	1,026	1,051	57	2.97
	15年	1,168	1,099	1,126	69	3.20
	16年	1,097	1,039	1,058	58	3.01
	17年	1,223	1,171	1,193	52	3.35
	18年	1,258	1,179	1,192	79	3.45
	19年	1,237	1,161	1,176	76	3.39
	20年	1,126	1,065	1,077	61	3.08
	21年	1,095	1,035	1,046	60	3.00
	22年	1,249	1,168	1,177	81	3.42
	23年	1,211	1,157	1,174	54	3.32





▼月別救急活動状況▼

(平成23年中)

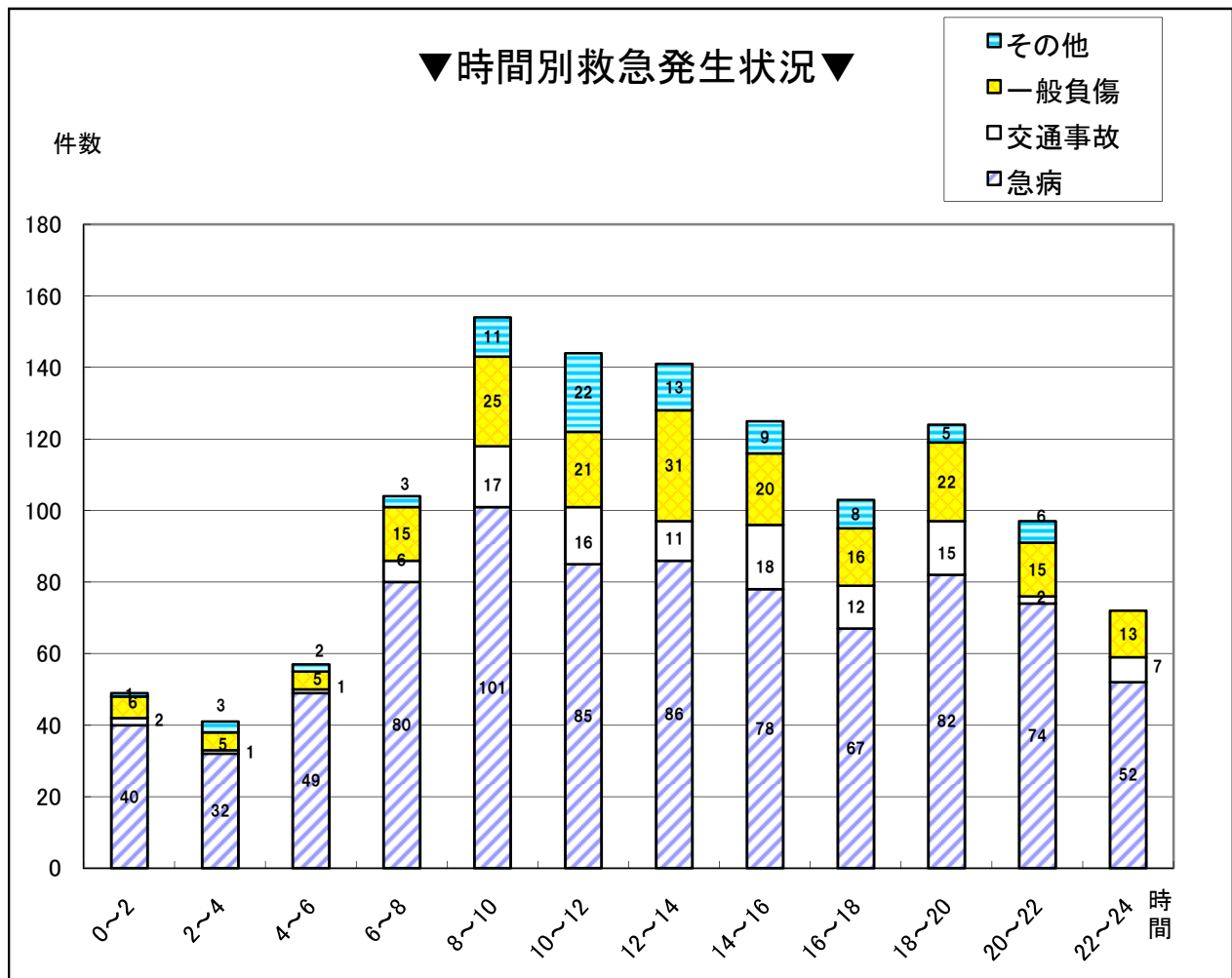
事故種別 区分		合 計	一 日 平 均	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	出場件数	1,211	3				108	7	8	194	3	11	826	54
	搬送人員	1,174					116	7	9	186	2	10	804	40
	不搬送件数	54					4			10	1	1	24	14
1 月	出場件数	116	4				14			15	1	1	80	5
	搬送人員	111					14			16			77	4
	不搬送件数	6									1	1	3	1
2 月	出場件数	98	4				9			15	1	1	70	2
	搬送人員	97					11			13	1	1	69	2
	不搬送件数	3								2			1	
3 月	出場件数	92	3				7	1		10			68	6
	搬送人員	87					6	1		10			64	6
	不搬送件数	5					1						4	
4 月	出場件数	89	3				9			19		2	57	2
	搬送人員	86					8			18		2	57	1
	不搬送件数	3					1			1				1
5 月	出場件数	105	3				8	2		18	1	1	69	6
	搬送人員	97					7	2		16	1	1	68	2
	不搬送件数	8					1			2			1	4
6 月	出場件数	88	3				9	2		18		1	53	5
	搬送人員	85					9	2		18		1	51	4
	不搬送件数	4								1			2	1
7 月	出場件数	96	3				8		2	15		1	66	4
	搬送人員	92					10		3	15		1	61	2
	不搬送件数	7											5	2
8 月	出場件数	115	4				12		1	16			83	3
	搬送人員	120					16		1	15			85	3
	不搬送件数	1								1				
9 月	出場件数	89	3				11	2		14			55	7
	搬送人員	84					13	2		12			53	4
	不搬送件数	7								2			2	3
10 月	出場件数	112	4				9		2	19		1	75	6
	搬送人員	108					9		2	19		1	73	4
	不搬送件数	5					1						2	2
11 月	出場件数	98	3				6		3	12		2	72	3
	搬送人員	97					7		3	12		2	70	3
	不搬送件数	2											2	
12 月	出場件数	113	4				6			23		1	78	5
	搬送人員	110					6			22		1	76	5
	不搬送件数	3								1			2	

▼曜日別救急発生状況▼

(平成23年中)

曜日別 事故別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
合計	1,211				108	7	8	194	3	11	826	54
月	179				16	2	1	37		4	110	9
火	204				17			36	3	1	136	11
水	168				18	1	1	17			123	8
木	172				11		2	25			125	9
金	167				13	1		30			117	6
土	180				17	2	2	31		5	118	5
日	141				16	1	2	18		1	97	6

▼時間別救急発生状況▼



▼事故種別不搬送件数▼

(平成23年中)

種別	理由	合計	緊な 急 性し	傷な 病 者し	拒 否	酩 酊	死 亡	現 場 処 置	誤 い た ず 報 ら	そ の 他
合計		54	10	6	23	3	11	1		
急病		24	5		12		7			
交通事故		4	2		2					
一般負傷		10	1		7	1		1		
その他		16	2	6	2	2	4			

▼地区別出場件数▼

(平成23年中)

地区	合計	二宮	山西	中里	百合が丘	一色	富士見が丘	緑が丘	川匂	松根	その他
件数	1,211	401	200	147	171	89	101	35	46	9	12

▼覚知別、交通事故の道路別出場件数▼

《覚知別発生状況》

(平成23年中)

種別	合計	専用(119)	加入電話	駆け込み	携帯(転送)	シルバー	その他
件数	1,211	976	162	9	31	11	22

《交通事故の道路別出場状況》

(平成23年中)

道路別	合計	国道 1号線	県道	小田原 厚木道路	西湘 バイパス	その他 (町道含む)
件数	108	27	29	5	9	38

▼所要時間別出場件数と搬送人員▼

(平成23年中)

事故種別	区分 合計 件数	現場到着所要時間					車内収容時間					病院収容時間					
		0分 3分	3分 5分	5分 10分	10分 20分	20分 以上	搬 送 人 合計	0分 10分	10分 15分	15分 20分	20分 以上	搬 送 人 合計	0分 20分	20分 30分	30分 60分	60分 120分	120分 以上
合計	1,211	50	488	653	19	1	1,174	434	428	216	96	1,174	16	463	670	25	0
急病	826	31	327	460	8	0	804	254	320	160	70	804	10	323	455	16	0
交通事故	108	10	49	44	4	1	116	80	21	9	6	116	2	44	65	5	0
一般負傷	194	3	68	119	4	0	186	65	61	42	18	186	2	63	118	3	0
その他	83	6	44	30	3	0	68	35	26	5	2	68	2	33	32	1	0

※ 現場到着に時間を要している事案は、救急出場中の要請及び町外(自動車専用道路の応援等)に出場していたためです。

▼傷病程度と年令別搬送人員▼

(平成23年中)

区分 事故種別	年 令 区 分						傷 病 程 度				
	合 計	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	合 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症
合 計	1,174	4	57	43	347	723	1,174	34	92	585	463
急 病	804	2	41	19	208	534	804	27	73	442	262
交通事故	116		4	10	74	28	116		5	38	73
一般負傷	186	2	12	6	38	128	186	3	4	76	103
そ の 他	68			8	27	33	68	4	10	29	25

その他は、火災・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・自然災害事故等含む。

「年齢内訳」

乳幼児＝生後29日～満7才未満
少年＝満7才～満18才未満
成人＝満18才～65才未満
高齢者＝満65才以上

「傷病内訳」

程 度	内 容	男 性	女 性
死 亡	初診時に死亡確認	17	17
重 症	入院3週間以上	58	34
中等症	入院を要し重症に至らない	278	305
軽 症	入院が必要としない	230	235
合 計		583	591

▼応急処置等実施状況▼

(平成23年中)

区分		事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置等対象人員			795	115	183	68	1,161
応 急 処 置 合 計			3,198	443	637	275	4,553
処 置 件 数	止血(止血帯等)		5	5	15	4	29
	固定(副子等・頸部・全身)		4	53	33	7	97
	人工呼吸		28		2	4	34
	心マッサージ		28		2	4	34
	心肺蘇生		28		2	4	34
	酸素吸入		292	15	10	23	340
	気道確保		43	1	1	5	50
		経鼻エアウェイ	21	1	1	2	25
		咽頭鏡・鉗子等	2				2
		特定行為(LM等・気管内挿管)	29	1	1	4	35
		保温	35	4	4	1	44
		被覆	3	20	41	8	72
		在宅療法継続	7				7
		ショックパンツによる血圧保持	1				1
		除細動(包括的)	2				2
		静脈路確保(特定行為)	15		2		17
	薬剤投与	10		2	1	13	
	その他の応急処置	39	1		1	41	
	血圧測定	745	111	176	62	1,094	
	聴診器による聴取	729	104	144	53	1,030	
	血中酸素飽和度の測定	766	112	180	61	1,119	
	心電図	366	15	21	31	433	

## ▼応急手当普及講習会実施状況▼

二宮町では、平成7年から応急手当等の講習会を実施しており、平成24年4月1日現在で普通救命講習修了者が3,277名となりました。自動体外式除細動器（AED）も町内の公共施設をはじめ、一般企業や事業所等にも設置されるようになり、町ホームページにて随時公表しています。平成23年度の普通救命講習は25回268名が修了され、再度講習に参加された方は92名でした。救命率の向上を図るため、多くの方々に講習に参加していただきました。

(平成23年度)

番号	講習月日	講習会区分	受講者区分	受講者	修了者	再講習者
1	4月13日	普通救命講習	町役場職員	8	8	
2	4月12,14日	普通救命講習	消防団員	45		45
3	4月17日	普通救命講習	消防団員	7	7	
4	6月13日	その他の講習	町職員・体育施設関係者	6		
5	6月20日	普通救命講習	町職員・体育施設関係者	7	4	3
6	6月25日	普通救命講習	体育施設関係者	19	13	6
7	6月29日	普通救命講習	福祉施設関係者	16	16	
8	7月13日	普通救命講習	福祉施設関係者	18	18	
9	7月22日	普通救命講習	二宮町教育委員会	11	2	9
10	7月30日	普通救命講習	二宮町危険物安全協会	2	1	1
11	8月4日	普通救命講習	二宮町教育委員会	7	4	3
12	8月5日	普通救命講習	二宮西中学校	20	20	
13	8月8日	普通救命講習	二宮西中学校	16	16	
14	8月9日	普通救命講習	二宮西中学校	20	20	
15	8月17日	普通救命講習	二宮西中学校	20	20	
16	8月18日	普通救命講習	二宮町教育委員会	14	8	6
17	8月22日	普通救命講習	二宮西中学校	20	20	
18	8月23日	普通救命講習	二宮西中学校	15	15	
19	8月24日	その他の講習	二宮町少年野球協会	21		
20	8月24日	普通救命講習	二宮町少年野球協会	13	13	
21	9月2日	普通救命講習	保険予防課 健康づくり普及員	12	5	7
22	9月13日	その他の講習	二宮町社会福祉協議会	6		
23	9月28日	普通救命講習	町内スポーツ教室	14	11	2
24	10月28日	普通救命講習	山西学童コミュニティクラブ	10	9	1
25	11月10日	普通救命講習	社会福祉協議会	15	11	4
26	11月22日	普通救命講習	中郡医師会	11	11	
27	H24 1月13日	その他の講習	町内事業所	20		
28	2月5日	普通救命講習	一般募集	11	6	5
29	2月8日	普通救命講習	福祉施設関係者	10	10	
30	3月12日	その他の講習	二宮町老人会	26		
		合計		440	268	92

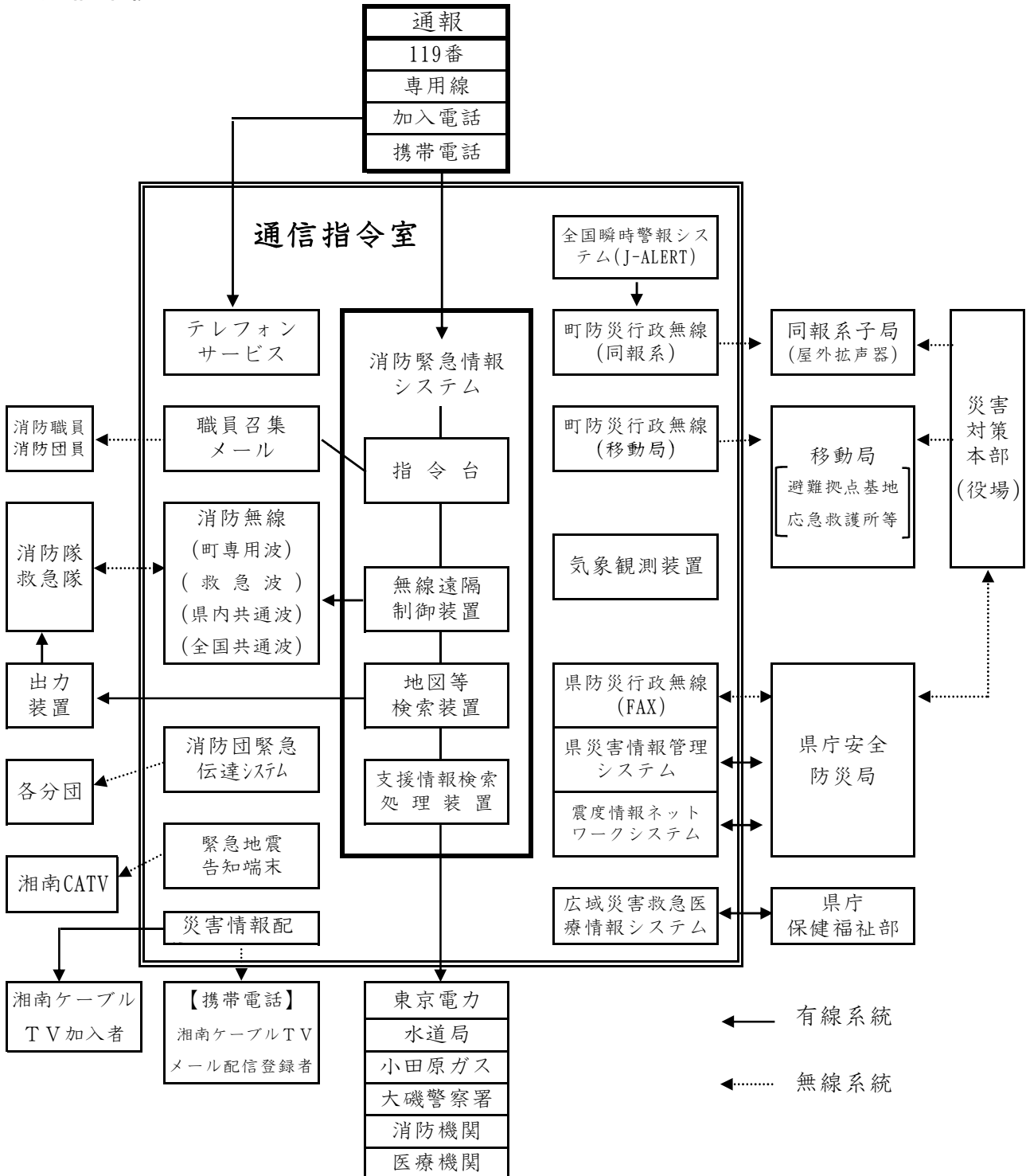
※ 救命講習修了者数 3,009名（平成23年4月1日現在）

※ 救命講習修了者数 3,277名（平成24年4月1日現在）

# ◇ 通信 ◇

通信指令室は消防活動の要であり、指令台を中心に火災報知専用電話（119番）のほか数多くの通信情報システムが配備され、災害出動指令や消防関係通信業務に24時間体制で職員が従事しています。

## ▼通信系統図▼



## ◇ 災害出動体制 ◇

各種災害通報は、火災報知専用電話（119番）等を通じて、すべて消防署通信指令室で受信します。通報を受けた指令員は、隊員に出動指令をかけ、状況により車両・資機材を選択した消防隊等が2～3隊で災害現場に急行します。また、災害の状況に応じて消防団へ出動指令し、その後各関係機関に連絡します。平成23年度には緊急消防援助隊用車両として、被災地でも十分な能力を発揮することができる災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車を配備しました。

消防本部・消防署

水槽付消防ポンプ自動車	普通消防ポンプ自動車	救助工作車	積載車	高規格救急自動車×2	指令車	広報車	可搬ポンプ×2
-------------	------------	-------	-----	------------	-----	-----	---------

消防団

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団
普通消防ポンプ車 可搬ポンプ	普通消防ポンプ車 可搬ポンプ	普通消防ポンプ車 可搬ポンプ	普通消防ポンプ車 可搬ポンプ	普通消防ポンプ車 可搬ポンプ

## ▼ 救助出動体制 ▼

火災・交通事故・労働災害及び一般負傷等、複雑化する都市災害から人命を守るため、平成18年に救助工作車を配備し、あらゆる災害に対処できるように努力しています。

救助資機材等

資機材名	数量	資機材名	数量	資機材名	数量
クレーン2.9t（車載式）	1	救命胴衣	9	耐電衣（一式）	3
ウインチ（車載式）	1	救命浮環	1	化学防護服（一式）	5
照明装置（車載式）	1	山岳救助器具一式	1	救助帯・安全帯	7
超高圧消火装置	1	送排風機	1	インパルス銃	1
油圧救助器具一式	1	エンジンカッター	2	フォグガン	1
削岩機	1	チェーンソー	2	簡易画像探索器（ホークカメラ）	1
発動発電機	1	単梯子（カギ付）	2	マルチガス測定器	1
空気式救助マット	2	三連梯子	3	防毒マスク	5
酸素切断機	1	バスケット型担架	1	携帯警報機（スーパースト）	5
空気呼吸器	14	個人線量計	5	ガンマ線及びエックス線用線量率計	1

## ▼水防(自然災害)出動と体制 ▼

二宮町は、比較的大きな河川がなく、過去に水害による大規模な被害を受けたことはありませんが、集中豪雨や台風の際には河川の氾濫・道路冠水・土砂災害等の被害が発生する恐れがあります。このため、降雨時は雨量の把握に努め、早期に警戒体制を強化しています。

(平成23年中)

気象状況	回数	活動内容
大雨洪水警報	23	情報収集等及び町内巡回
台風接近上陸	3	情報収集等及び町内巡回・危険排除活動等

水防資材(消防本部管理分)

(平成24年4月1日現在)

品名	数量	品名	数量	品名	数量
一輪車	3台	スコップ	40丁	土のう袋	9,000枚
水中ポンプ	1基	土のう用止め杭	460本	緊急用土のう袋	250枚
のこぎり	6丁	防水シート	68枚	ロープ	400M
カケヤ	10丁	大ハンマー	5丁		

## ▼緊急消防援助隊▼

緊急消防援助隊は、消防組織法第44条の規定に基づき、災害等による緊急時に消防の応援等を行うことを任務としています。平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地に、神奈川県隊として当町も消火隊を派遣しました。

第1次派遣隊(3月11日から3月15日 2隊5日延べ35人)、第2次派遣隊(3月17日から3月20日 2隊4日延べ20人)が宮城県仙台市若林区を中心に、津波被害者の検索救助活動を実施しました。被災地が冬季の寒冷地であったため、野営も困難を極めました。要救助者を救出し、現地での活動に貢献しました。

## ▼消防相互応援協定▼

消防相互応援協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、大災害等が発生した際に相互の消防力を補い、被害の軽減を図っています。この協定は、全国、県下、隣接市町などで締結され、航空応援・特別応援・通常応援等に区分されています。

《応援出場状況》

(平成23年中)

応援市	合計		小田原市		大磯町		中井町		その他	
	応援	受援	応援	受援	応援	受援	応援	受援	応援	受援
出場回数	火災出場	2	1			2	1			
	救急出場	12	15	6	1	6	13		1	
	救助出動								1	

被災市町からの要請が無い場合でも、互いに協力し出場する区域は次のとおりです。

《通常応援出場区域》

二宮町	平塚市
平塚市のうち土屋	二宮町のうち一色

二宮町	小田原市
小田原市のうち小竹(中村川以東)・川匂 ・山西・東ヶ岡・中村原・羽根尾	二宮町のうち一色(主要地方道秦野 ・二宮線以西)・百合が丘・山西・川匂



二宮町	大磯町
大磯町全域	二宮町全域

二宮町	足柄消防組合
中井町井ノ口地区の県道南金目・中井線以南	二宮町のうち小田原・厚木道路以北

《通常応援出場区域（自動車専用道路受持区域）》

二宮町	小田原市
小田原・厚木道路のうち、二宮インターから小田原料金所までの区間の下り線。 西湘バパスのうち二宮インターから国府津インターまでの区間の下り線。	小田原・厚木道路のうち、小田原料金所から二宮インターまでの区間の上り線。 西湘バパスのうち国府津インターから二宮インターまでの区間の上り線。

二宮町	大磯町
小田原・厚木道路のうち、二宮インターから大磯インターまでの区間の上り線。 西湘バパスのうち二宮インターから大磯西インターまでの区間の上り線。	小田原・厚木道路のうち、大磯インターから二宮インターまでの区間の下り線。 西湘バパスのうち大磯西インターから二宮インターまでの区間の下り線。

## ◇ 消防水利 ◇

二宮町内の消防水利は水資源の関係から、大部分が消火栓で充足されていますが、市街地周辺部は水道管口径が細いため水利が不足しています。このため水利不足地域の解消と、震災時の水利確保を図るため防火水槽を設置し、充実確保に努めています。

### ▼消防水利の現勢調▼

(平成24年4月1日現在)

種別 区分	水利	消 火 栓			防 火 水 槽			そ の 他	
	合計	小計	公設	私設	小計	公設	私設	プール	濠池等
基準数	409								
適合水利	360	301	300	1	59	53	6		
充足率	88.0%								
現有数	448	372	371	1	74	68	6	2	

(注) 適合水利とは、消防水利の基準に適合した施設数

消火栓は、直径150ミリメートル以上の管口径に取り付けられたものがふさわしく、また防火水槽についても常に40トン以上貯水されたものが消防水利として適しています。

(注) 現有数とは、消防水利の基準にかかわらず全部の施設

## ◇ 気 象 ◇

気象観測による情報は、火災の予防や消防活動全般に大切であるとともに、降雨等による災害の被害軽減のために重要な役割を果たしています。火災は、気象条件と密接な関係があり、気象条件により火災の規模も異なり出火率も左右されます。

また、各種災害では、常に気象条件を考慮した活動が要求されるため365日、気象観測装置による観測を実施しています。

### ▼ 月別気象状況 ▼

(平成23年度)

種別 月別	気温 (°C)			湿度 (%)			風速 (m/s)		天 候				降 水 日 数	最 多 風 向	降 水 総 量 (mm)
	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 大	平 均	晴	曇	雨	雪			
4月	25.5	0.1	15.7	96.3	18.9	47.7	16.5	2.8	19	9	2	0	6	南南東	69.0
5月	30.9	10.3	20.3	96.1	28.3	60.6	16.4	2.3	13	11	7	0	14	南南東	228.0
6月	34.5	12.3	24.1	94.9	51.3	68.4	14.5	2.4	11	16	3	0	13	南南東	146.5
7月	33.4	18.5	28.1	95.1	41.8	66.7	16.5	2.6	19	12	0	0	5	南東	36.5
8月	36.9	20.0	28.0	85.6	48.5	64.0	12.8	2.1	18	12	1	0	14	南南東	164.0
9月	32.6	13.4	26.6	95.8	38.0	66.4	26.8	2.6	18	9	3	0	12	南東	355.5
10月	29.0	8.2	21.2	97.5	35.7	57.0	14.2	2.2	17	11	3	0	10	南東	157.0
11月	26.2	3.2	17.0	97.3	35.1	55.9	13.9	1.8	17	10	3	0	8	東	131.5
12月	20.2	-3.7	9.7	98.4	30.6	52.8	12.2	1.9	21	9	1	0	7	東	53.0
1月	13.3	-4.0	7.0	96.3	27.1	53.2	15.1	2.3	19	9	2	1	6	東	42.0
2月	17.4	-5.9	7.2	96.9	15.0	49.7	14.2	1.9	16	10	3	0	10	東	182.0
3月	20.0	-0.9	11.2	96.4	21.6	54.1	17.2	2.7	16	9	5	1	13	東北東	185.0
平均	26.7	6.0	18.0	95.6	32.7	58.0	15.9	2.3	17	11	3	0	10	東 南南東	145.8
合計									204	127	33	2	118		1,750.0

注記 : 気温、湿度、風速の平均値は正午観測値より算出のもの。

▼ 横浜地方気象台予報等発表状況等調 ▼

種 別	月 別												
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大雨注意報	116	5	13	8	9	29	28	16	7				1
洪水注意報	78	5	7	6	12	16	16	9	7				
強風注意報	362	47	33	27	31	15	35	28	20	17	27	41	41
波浪注意報	197	24	20	13	13	24	25	12	9	3	5	21	28
暴風注意報	0												
雷注意報	241	13	9	25	32	72	38	20	12	1	2	9	8
乾燥注意報	145	31						1	2	23	43	26	19
濃霧注意報	39		11	7	1	5		4	1			3	7
高潮注意報	1						1						
低温注意報	33									3	19	11	
大雪注意報	3										1	2	
着雪意報	3										1	2	
風雪意報	5										1	4	
霜注意報	12	10											2
暴風雨注意報	0												
大雨警報	18		3	1	4	2	8						
洪水警報	5			1		2	2						
波浪警報	25				6		13		6				
暴風警報	2						2						
高潮警報	2						2						

▼ 過去5年間の気象 ▼

区 分		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
1日平均風速 (m/s)		2.2	2.2	2.2	2.3	2.3
最多風向		南南東	南南東	南南東	南東	南南東
降水量 (mm)		1467.0	2044.0	1642.0	1872.5	1750.0
平均気温 (℃)		18.0	18.1	17.9	18.0	18.0
平均湿度 (%)		73.8	57.2	61.0	58.6	58.0
天 気 日 数	晴	192	176	180	214	204
	曇	143	152	146	120	127
	雨	30	37	39	30	33
	雪	0	0	0	1	2

注記：正午観測値より算出したもの

▼横浜地方気象台予報等発表状況等調▼

種 別	合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
火災予防に関する気象通報	161	34	7	5	6	1	4	3	7	16	31	24	23
雷と突風及び降ひょうに関する気象情報	3	3											
大雨と強風及び高波に関する気象情報	6	4	2										
大雨と雷及び突風に関する情報	11	2	2	3				4					
黄砂に関する気象情報	3		3										
大雨と雷に関する気象情報	17		4	4		9							
大雨に関する神奈川県気象情報	2		2										
高温に関する異常天候早期警戒情報	5			1				2	1	1			
高温に関する神奈川県気象情報	6			2	4								
神奈川県竜巻注意情報	1			1									
台風5号に関する情報	1			1									
台風6号に関する情報	11				11								
竜巻注意情報	8				1		7						
神奈川県高温注意情報	8					8							
低温に関する異常天候早期警戒情報	7					1	1				3	1	1
気温に関する異常天候早期警戒情報	7					1	2		1		2	1	
大雨による県内被害状況	7					7							
台風12号に関する情報	16					2	14						
台風12号に関するお知らせ	6						6						
神奈川県土砂災害警戒情報	9						9						
台風15号に関する情報	7						7						
台風15号に関による県内被害状況	1						1						
高波と強風及び大雨に関する情報	9								5			4	
大雪と強風及び高波に関する情報	4										4		
大雪に関する情報	8										3	5	
高波と強風に関する情報	3												3

二 宮 町 消 防 年 報

平成 24年 9月 発 行

編 集 発 行 二 宮 町 消 防 本 部

〒259-0131 神奈川県中郡二宮町中里711-1

TEL(0463)72-0015(代)

FAX(0463)72-0117